

令和8年5月22日

四国地方整備局

## “地域活性化へ” 官民連携基盤整備の支援事業を決定

～民間と自治体が連携して取り組むインフラ整備の事業化検討を支援します～

国土交通省は、「官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業（官民連携基盤整備推進調査費）」の令和8年度第1回配分として、地方公共団体が実施する17件の調査（道路・都市・公園・港湾）の支援を決定しました。

なお、四国地方整備局管内では、以下の1件の支援を決定しました。  
（詳細は別添参照）

調査名：土庄町における「まちなか道の駅」整備による地域活性化のための基盤整備検討調査

実施主体：土庄町<sup>とのしようちょう</sup>

対象地域：香川県土庄町<sup>とのしようちょう</sup>

- 本事業は、民間の設備投資等と一体的に計画される地方公共団体のインフラ整備（道路・河川・公園・市街地整備・港湾・空港等）の事業化検討を支援するための制度です。  
（配分先：地方公共団体、補助率：1/2以内）

- 募集情報や過去の実施例等は以下をご覧ください。

国土交通省 HP「官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業」

<https://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/kanminrenkei.html>

<同時記者発表>

国土交通省（国土政策局 地方政策課調整室）

[https://www.mlit.go.jp/report/press/kokudoseisaku09\\_hh\\_000184.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/kokudoseisaku09_hh_000184.html)

<問い合わせ先>

四国地方整備局 企画部 広域計画課

課長 矢野 裕紀

課長補佐 阿部 浩之

電話 087-811-8309（広域計画課直通）

令和8年度 官民連携基盤整備推進調査費 第1回実施事業一覧（四国管内）

別添1

調査名	実施主体	対象地域	概要	実施計画額（十円）	
				事業費	国費
1 土庄町における「まちなか道の駅」整備による地域活性化のための基盤整備検討調査	と <sup>と</sup> の <sup>し</sup> ょう <sup>ち</sup> ょう <sup>う</sup> 土庄町	香 <sup>と</sup> 川 <sup>し</sup> 県 <sup>う</sup> 土 <sup>づ</sup> 庄 <sup>ま</sup> 町	香川県土庄町の玄関口である土庄港は、島内最大級の交通拠点であり、住民の移動と観光来訪者の受入れに重要な役割を果たしている。町内には多様な観光資源が存在するものの、駐車場や休憩施設、観光案内等の来訪者受入機能が十分でなく、利便性向上や周遊環境の改善が課題となっている。このため、土庄港に近接する旧庁舎跡地に休憩機能、観光案内、地域産品の発信等を一体的に提供する拠点を形成することで、観光振興と地域活性化を図ることが期待されることから、道の駅整備に係る調査、設計及びPPP/PFI導入可能性検討を行う。	20,000	10,000
計1箇所				20,000	10,000

# 土庄町における「まちなか道の駅」整備による地域活性化のための基盤整備検討調査 別添2

## 地域の特徴等

- 土庄町は、小豆島の中央から北西部に位置し、自然、景観、歴史など多様な観光資源を有している。また、町の玄関口である土庄港は、島内最大級の交通拠点であり、住民の移動と観光来訪者（年間約98万人）の受入れに重要な役割を果たしている。
- 一方で、町内には多様な観光資源が存在するものの、駐車場や休憩施設、観光案内等の来訪者受入機能が十分でなく、利便性向上や周遊環境の改善が課題となっている。
- このため、土庄港に近接する旧庁舎跡地に「道の駅」を整備し、休憩機能、観光案内、地域製品の発信等を一体的に提供する拠点を形成することで、観光振興と地域活性化を図ることが期待されている。

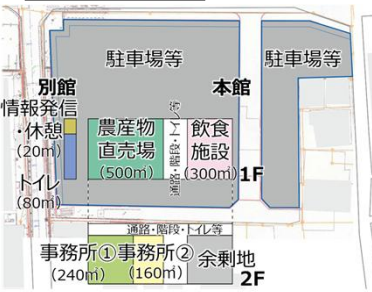
【調査箇所：香川県土庄町】  
位置図



遊休施設（旧庁舎）の状況



整備イメージ



### (1) 社会的背景・状況の変化等（きっかけ）

- ・令和6年1月 「小豆島観光ビジョン」を策定
- ・令和6年3月 「土庄町立地適正化計画」を策定
- ・令和7年2月 「土庄町中心部のアイランドタウン創生プラン・基本構想」を策定

### (2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定

- ・農業協同組合による農産物直売市を開催（令和13年度～）
- ・地域DMOによる観光プロモーション（二十四の瞳等）活動の実施（令和13年度～）
- ・地元民間事業者による文化活動の推進イベントを実施（令和13年度～）
- ・PPP/PFI事業者による道の駅整備及び管理運営（令和11年度～）

密接な  
関連性

### (3) 基盤整備の必要性（現状の課題等）

- ・来訪者が利用する駐車場や休憩施設等が不足している一方で、遊休施設や遊休地が十分に活用できていない。
- ・島の玄関口である土庄港から至近である地の利を生かし切れていない。

### (4) 【調査内容】

- ①道の駅整備に係る概略設計（配置計画の検討、概略設計図の作成、概算事業費の算出等）
- ②道の駅整備に係るの整備効果検討（需要予測、経済波及効果算定等）
- ③道の駅整備に係るPPP/PFI導入可能性検討

### (5) 民間の活動と一体的に整備する効果

- ・地元特産品の販路・消費拡大による地域経済の活性化
- ・民間事業者のノウハウによる、道の駅利用者・収益増加
- ・地元住民・観光客の新たな交流拠点による賑わいの創出

道の駅（駐車場、休憩施設、情報発信施設、地域振興施設）の整備（PPP/PFI導入可能性検討）

農産物直売市を開催  
観光プロモーション活動の実施（イベントやコラボ商品開発等）

迷路のまち  
（意図的に複雑に入り組ませた歴史的な集落）

文化活動の推進イベントを実施（妖怪をテーマとしたイベント）

凡例

- 社会資本整備
- 民間での取組

# 官民連携基盤整備推進調査費の制度概要

別添3

## 民間の事業活動と連携した自治体のインフラ整備の事業化検討を支援

○民間の事業活動計画と一体となって推進する事業のうち、地方公共団体が整備するインフラの概略(基本)設計や基礎データ収集、整備効果検討などに活用できる調査費を補助。

<特徴>

- ・基盤整備の構想段階から事業実施段階への円滑かつ速やかな移行を支援。
- ・民間の意思決定のタイミングに合わせた機動的な支援により、民間の事業活動と一体となった基盤整備の早期効果発現に寄与。
- ・民間の活力を活かすことで、地域の個性や強みを活かした社会基盤整備を効果的に推進することが可能。

### 事業概要

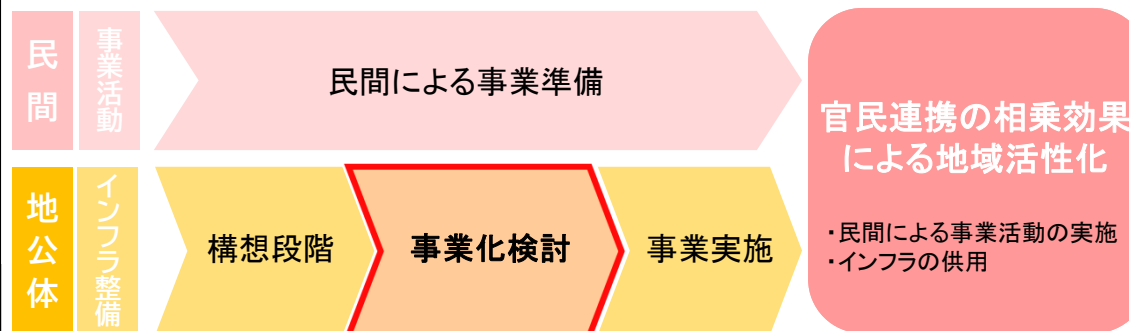
- 対象事業：  
国土交通省所管の社会資本整備事業  
(道路・港湾・河川・公園・市街地整備等)
- 補助対象：都道府県、特別区及び市町村  
(一部事務組合及び広域連合を含む)
- 補助率：1/2以内
- 募集回数：年3回程度



— イメージ —

### 支援内容

#### ○事業フロー



#### ○支援内容：インフラ整備の事業化検討に必要な調査

- ① 概略設計：基本的仕様の検討、概略設計図、パース作成、概算事業費算出 等
- ② 基礎データ収集：概略設計に必要な地形、地質、交通量等の調査 等
- ③ 整備効果検討：インフラ整備による効果、便益、経済効果の検討 等
- ④ PPP/PFI導入可能性検討：PPP/PFI手法の選定、官民の役割分担、VFMの算定 等